

3

私立小学校における諸問題

— 教育活動から私立小学校の独自性をさぐる —

大 森 隆 實（日本私学教育研究所 専任研究員）

1. 本研究の目標と内容

我が国の学校教育現場で、私立小学校は多くの困難に出会いながら、今日の姿を築いてきた。

しかし、新しい世紀に入り、あらゆる場に改革が求められており、教育界においても避けて通れないのが現状である。

そのような折、時代に対応した私立小学校の在り方について、考察することも意義あることではないだろうか。そこで、日本私立小学校連合会に加盟している各学校にアンケートを依頼し、そこから私立小学校の独自性が、各校においてどのように位置付けられているか調査した。

建学の精神・私学の独自性といっても様々なとらえ方があり、納得のいくまとめ方ができるか疑問であるが、まずは実行しなければと言うことで始めた次第である。

2. 法律にみる私立学校

「私立学校法」においては、その目的を「私立学校の特性にかんがみ、この自主性を重んじ、公共性を高めることによって、私立学校の健全な発達を図ること」と定めています。「私立学校の特性」とは私立学校が私人の寄付財産等によって設立・運営されることを原則とするものであることにともなう特徴的な性格です。

私立学校において、建学の精神や独自の校風が強調されたり、所轄庁による規制ができるだけ制限されているのもこの特性に根ざすものなのです。

一方では、私立学校といえども公教育の一翼を担っている点においては、教育基本法に示されているとおり「公の性質」を有するものとされています。

— 文部科学省のホームページから —

【私立学校の果たす重要な役割】

私立学校に在学する学生・生徒などの割合は、大学・短大で約8割、高等学校で約3割、幼稚園で約8割、専修学校・各種学校で約10割を占めており、私立学校は我が国の学校教育の発展に大きく貢献しています。また、近年ますます国際化・高度情報化する社会の中で、各私立学校には、多様化する国民のニーズ（需要）に応じた特色ある教育研究の推進が求められており、それぞれが建学の精神

に基づく個性豊かな活動を積極的に展開しています。このように、私立学校は、我が国の学校教育の発展にとって、質・量両面にわたり重要な役割を果たしています。

このため、文部科学省は、私立学校の振興を重要な政策課題として位置付け、その教育研究条件の維持向上と在学する学生生徒などの修学上の経済的負担の軽減を図るとともに、経営の健全性を高めるため、下記施策をはじめとする振興方策を講じ、その一層の充実に努めています。

1. 経常費補助を中心とする私学助成事業
2. 日本私立学校振興・共済事業団における貸付事業
3. 税制上の特例措置
4. 学校法人の経営改善支援

各私立学校においても、それぞれの自助努力により、経営基盤の維持・強化を進め、教育研究内容や財務状況に関する情報公開を積極的に行いつつ、国民の要請にこたえる個性的で魅力あふれる学校づくりを進めることが期待されています。

【教育基本法（平成18年法律第120号）について】

私立学校

本条を新設し、私立学校の自主性を尊重しつつ、国・地方公共団体が私学助成などの振興に努めるべきことを規定しています。

第8条 私立学校の有する公の性質及び学校教育において果たす重要な役割にかんがみ、国及び地方公共団体は、その自主性を尊重しつつ、助成その他の適当な方法によって私立学校教育の振興に努めなければならない。

3. 私立学校の歩むべき道

このように私立学校が、法によってしっかりと位置付けられ、それに沿って経営・運営されなければならないことが分かる。

それらを踏まえて、私立学校の独自性を維持し発揮することは今まで以上にそのさじ加減や、舵取りが大事になると考える。

今回東日本大震災における復興支援の事業で、「児童生徒の心のケア」のために訪問した福島県の私学協会で見にした冊子から建学の精神と特色教育の項があったのでそれを転載させてもらった。

建学の精神と特色教育

(1) 私立高等学校における建学の精神

本県の私立高等学校は、明治25年に創立された学校法人石川高等学校の前身石川義塾に始まり、平成13年創立のいわき秀英高等学校まで18校を数える。

これらの私立高等学校は、いずれも創立者が自己の教育に対する理想を実現すべく固い信念のもとに私財を投げ打ち創立されたものであり、この建学の精神は、先輩から後輩へと受け継がれ

て脈々と生き続け、各校独自の校風を形づくっている。私立学校は、この建学の精神によって存立しているといっても過言ではない。

(2) 特色ある私立学校教育

本県の私立学校は、建学の精神に基づきそれぞれ特色ある教育活動を行っている。

例えば次のようなものである。

特色教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の精神に基づく教育目標と人間教育 ・ 宗教教育をとおしての人格形成 ・ 小・中・高・大の一貫教育 ・ 私立大学との提携による教育の向上・芸術・教養講座の開設 ・ 特別活動・部活動の強化
教育課程の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択教科の大幅な取り入れ ・ 英語科の海外教室設置 ・ コース制による専門教育の徹底 ・ 時代に即応する教育課程の編成
わかる授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導による能力と個性の伸長 ・ 習熟度別による学力の向上 ・ 進路別指導と学習の活性化
国際化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人教師による語学教育 ・ 各学年英会話必修制度 ・ 夏期海外研修旅行 ・ 留学生の受け入れによる国際理解教育
情報化時代への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報関係機器の大量導入 ・ 技能の習得と資格取得の強化 ・ 産学連携の推進

これらの教育活動は、幸いにして県民の皆様にも十分認識されるところとなり、その評価も年々高まっている。

— 平成23年度版 福島県私立高等学校の概要より —

義務教育における私立学校を考えると、第一に浮かぶことは有償、無償のことである。有償であるが故に、私立学校を選択する人たちは様々なニーズが叶えられるよう望むのである。それは単に学校の特色にとどまらず、卒業後の姿まで多岐に渡っている。

しかしながら、国の施策により小中一貫校や中高一貫校、中等教育学校など、公私の垣根が取り払われ、また東京都千代田区立の中高一貫校、東京都立の中等教育学校など義務教育の垣根も取り払われつつあるのである。

東京都では小中一貫校を設置しようという動きが、都知事を先頭に走り出す構えのようである。教育の機会均等という考えそのものが崩壊されないか不安になる。

このまま進めば、私立学校の存在自体が脅かされるのではないかと、心配になる。そのようななかで、私立学校の独自の教育を推進することは大変大きな力と格段の努力が必要ことは言うまでもない。

私立の小学校が一丸となって事に当たるのが、今私たちに求められている道ではないだろうか。

4. アンケートから私学の独自性を考える

「新しい時代に対応した私立小学校の在り方」についてのアンケートを実施した。行事、入試等の重なる時期にもかかわらず、日私小連加盟181校中およそ半数に当たる84校から回答をいただくことができた。それらの分析は別の機会に譲るとして、それによって分かった概要だけ記す。

「建学の精神」については、そこに記されている内容は多岐にわたり様々であるが、それぞれ建学時の状況によって公立校では得られないニーズに応えようとするものが多く見られた。学校創立に当たってはその時代背景と合わせて読み取る必要がある。

有償、無償の違いからも、授業内容の充実が求められており、その表れとして中学校と同じように完全専科制の実施されている学校が、5、6年のクラスにおいて22校、回答校の26.2%に上ることが分かった。

このように授業だけではなく教員の資質向上が私学にとって不可欠であることは言うまでもないが、校内研修の充実、授業研究会、と同様に外部研究会への積極的な参加が回答からは見られた。各校の独自性を叫びながらも、私学同士、あるいは公私を越えて、また多国間にも及ぶ交流が盛んに行われていることが分かった。

さらに、学校評価については保護者重視の向きがうかがえた。いかに保護者とのコミュニケーションが大事かが分かる。

私学の独自性を考えると、各学校とも建学の精神の具現化は当然ではあるが、それにプラスすることとして、それぞれの時代のニーズを取り入れて、教育活動を行うことが求められているのである。生活科、総合の時間、外国語活動等は、私立小学校が全人格の陶冶を目指して行ってきた教育の表れがそこにある。教科の充実では成就できないトータルな人間の育成を願っていることがアンケート調査から理解できる。

しかしながら、私学が目指した教育が、制度的にも、内容でも公私の境がなくなっている今日、さらに時代のパイオニア精神を発揮して教育を邁進していくことを求められていることに応えていかなければならない、と感じられるのである。

【参考文献】

- ・「和魂に学ぶ－日本人の源流を求めて」、梶田叡一、東京書籍、2006年
- ・「生きる力を育む学習指導の実際（小学校）」、教職のための実践講座2012、大森隆實（分担執筆）、朝日出版社、2012年7月
- ・「平成23年度版 福島県私立高等学校の概要」、福島県福島県私立中学高等学校協会編、平成24年3月
- ・「私立学校が果たす重要な役割」、文部科学省ホームページ
- ・「私立学校における『生きる力』を育む授業経営」、日本私学教育研究所紀要第48号、大森隆實（分担執筆）平成24年6月